

## 私のONとOFF

### 継続は力なり

株稲田屋本店 代表取締役会長

梅原 俊治さん

「継続は力なり」—— 1998年（平成10年）12月、日本橋に第1号店を開店した居酒屋・稲田屋本店の社是にこう掲げてある。そして「いつまでもお客様に愛され信頼される店を作ろう」と続く。この時、梅原さんは56歳。30年余り続けてきたサラリーマン生活に終止符を打ち、起業に踏み切った梅原さんの決意がこめられている。それから19年、店舗は東京を中心に9つになった。

梅原さんは早稲田大学第一商学部を経て1967（昭和42年）に同大学院商学研究科を卒業。恩師の中島正信元商学部長の紹介を受けて旧大倉財閥の持ち株会社、大倉事業に入社した。大倉当主が自宅跡に建設したホテルオークラや子会社の川奈ホテル、赤倉観光ホテル、タクシー会社やガソリンスタンドなども経営する会社だっ



た。グループ会社には大成建設、大倉商事、日本無線などがあり、「会社の性格上、社員の数も少なく、いろいろなことを勉強させてもらった」。

そんな梅原さんが何故、起業することになったのか？ここでふるさと鳥取がからむ。12歳年上の長兄は1673年前創業の蔵元、稲田本店を経営していた。秀峰大山山麓の豊かな自然に囲まれ、清酒「稲田姫」「トップ水雷」という銘柄がある。

ちなみに稲田姫という名前は、日本神話の「ヤマタノオロチ伝説」が出所になっている。出雲の国にやってきたスサノオノミコトが生贄の美しい娘を救うために、強い酒を8つ用意しヤマタノオロチに飲ませて退治した。スサノオノミコトはその美しい娘、稲田姫と結婚し、新

略歴 梅原 俊治（うめはら としはる）

1942年3月21日生まれ。1964年早稲田大学第一商学部卒業、1967年早稲田大学大学院商学研究科卒業。同年大倉事業株式会社入社。1997年12月株稲田本店の飲食部門として株稲田屋本店を設立。1998年12月日本橋店をオープン。代表取締役社長を経て、2015年代表取締役会長。